



目 次

- ◆ [第108回 国立大学法人10大学
理学部長会議及び 第25回 国立大
学
法人理学部長会議開催される](#)
- ◆ [理学部でオープンキャンパスを開
催](#)
- ◆ [国内最大の産学マッチングの場
「イノベーションジャパン2007」
に出展](#)
- ◆ [地震学夏の学校2007「地球深部研
究の最前線」を開催](#)
- ◆ [学会賞等の受賞等](#)
- ◆ [国際会議・シンポジウム等の開催
○“Representation Theory,
Systems of Differential
Equations
and their Related Topics”を開催
【数学専攻】](#)
- [「北海道大学数学公開講演会」
を開催【数学専攻】](#)
- ◆ [外国人研究者受入状況
\(2007.07.02~2007.10.01\)](#)
- ◆ [海外からの来訪者\(短期滞在\)
\(2007.07.02~2007.10.01\)](#)
- ◆ [学位授与
平成19年9月25日付け学位授与者](#)
- ◆ [人事異動\(正規職員・非正規職
員\)
\(H19.07.02~H19.10.01\)](#)
- ◆ [行事予定
\(平成19年10月~平成20年4月
初旬\)](#)

初時雨の後、わずかに残りし冬紅葉
(木陰に見えるのは理学部北東面)

第108回国立大学法人10大学理学部長会議及び 第25回国立大学法人理学部長会議開催される

第108回国立大学法人10大学理学部長会議及び第25回国立大学法人理学部長会議が平成19年10月11日、12日に東京工業大学及び埼玉大学の当番によりK K Rホテル東京で開催されました。

11日に開催された第108回国立大学法人10大学理学部長会議では、①「論文博士の廃止へ向かったの考え方、対応」、②「大学院への内部進学を30%以下に抑制する動きなどへの対応」、③「大学教育改革を巡る動きについて」、④「助教等へのテニユアトラック制の導入状況」、⑤「国家建設高レベル大学公派研究生プログラムへの対応状況」、⑥「大学院修士課程の定員、志願者数、入学者数及びその内訳」について活発な議論が行われました。

12日開催の第25回国立大学法人理学部長会議には、文部科学省説明の後、①「運営費交付金の配分方式の変更の動き」、②「学部入学時の学生の質の確保とその後の教育」、③「大学院における倫理、知的財産、研究マネジメントなどの教育の状況」について協議が行われました。

理学部でオープンキャンパスを開催

昨年までの「オープンユニバーシティ・1日体験入学」が、「オープンキャンパス」と改称され、高校生や保護者、一般市民の皆さんに実際に、来て・見て・体験していただくため、8月5日（日）・8月6日（月）に一斉に開催されました。

理学部において8月5日に実施されたのが「自由参加プログラム」で、どなたでも自由に、予約なしで参加できるとりくみでした。

8月6日は「高等学校生徒限定プログラム」として、参加希望者は事前予約・許可が必要とされておりました。

理学部における「自由参加プログラム」は、当日、午前の部と午後の部の2回に分けて開催されましたが、5号館低層棟2階の大講堂に道内外（遠くは九州から3名の高校生が参加。）から611人（道内483人、道外128人）もの多数の方に参加していただき、会場となった大講堂の収容人員（262名）を遥かに超える参加者数に会場の整理も大変な状況になるほどの盛況ぶりでした。

当日は、山口学部長の歓迎挨拶に続いて、各学科長・学科委員等から学科・分野の教育内容等について紹介が行われ、高校生たちは真剣な眼差しで聞き入っていました。

また、今年度も昨年度に引き続き、北海道大学科学技術コミュニケーション・フォーラム（代表：杉山滋郎教授）のご協力をいただき、「先生・先輩に聞いてみよう」のコーナーを設けました。

北海道大学科学技術コミュニケーション・フォーラム(HUCC)による司会・進行のもと、理学部在籍学生の協力を得て、学生各自の研究紹介を行った後、参加者との質疑応答などを行いました。参加者から予想を超える多数の質問がありましたが、当日の会場ですべての質問に答えるには時間が足りなかったため、後日、「HUCC」のホームページにおいてお答えすることとなりました。

「高等学校生徒限定プログラム」

「高等学校生徒限定プログラム」は、翌日の8月6日（月）に実施されました。

高校生に、自然科学への関心を強めていただくとともに、理学部で行われている教育・研究の実際を理解していただくよう始められたこのとりくみは、今年で16回目になります。

平成8年度から、文部省（現文部科学省）の委託研究事業として続けられてきた「高校生のための数学講座」をはじめ、5学科6学科目のすべてが平成19年度の「高等学校生徒限定プログラム」にとりくみ、理学部全体として計28コースが実施されました。

今年の「高等学校生徒限定プログラム」には、道外からの60名を含め、合計248人ももの高校生たちが、さまざまな新発見などに、生き生きと目を輝かせて参加していました。

各コースにおける「高等学校生徒限定プログラム」が終了した後、大講堂に集合した参加した高校生に、修了証書授与式が行われ、参加者代表として、宮崎県から参加してくれた生徒に山口学部長から修了証書が授与されました。

◆本学「科学技術コミュニケーション・フォーラム」のホームページでも概要を紹介

「自由参加プログラム」に参加した高校生や保護者、一般市民の皆様から寄せられた数多くの質問について、当日は全てについて答えることができませんでしたが、下記「科学技術コミュニケーション・フォーラム(HUCC)」のホームページに回答の一部及びとりくみの概要が掲載されておりますので、こちらをご覧ください。

「HUCC」のホームページはコチラ <http://fox231.hucc.hokudai.ac.jp/OU2007/>

国内最大の産学マッチングの場「イノベーションジャパン2007」に出展

国内最大規模の産学マッチングイベントである「イノベーションジャパン2007」が9月12日（水）から9月14日（金）まで、東京国際フォーラムで開催されました。

本イベントは、展示会・フォーラム・新技術説明会の3部から構成されており、中心となる展示会においては、大学の先端技術を7分野の「大学・TLOゾーン」を中心とする300を超える大学発先端技術シーズが公開されました。

本学からは、実施委員会から選定された6拠点及び「北海道大学知的財産本部」が参加し、大学院理学研究院からは、生命理学部門生命融合科学分野のグン剣萍教授、黒川孝幸特任助教らが参加しました。

会期中、松浪健四郎文部科学副大臣が本ブースを訪れ、黒川特任助教による説明を熱心に聞かれていたほか、多くの企業関係者・研究者の方々が訪れ、黒川特任助教及び同行した大学院生らと研究成果利用方法及び実用化に向けての共同研究などについて話し合いの場が持たれました。

（出展教員のコメント）

イノベーションジャパンに出展し、非常に多くの方に興味を示していただきました。普段学会などでしか発表の機会がなく、なかなか一般の方の目に触れることの少ない研究成果に興味を持っていただけたことは励みになりました。理学部でサイエンスに重点を置いて研究を進めている我々にとっては民生利用の観点で要求される点や考えていなかった応用分野からの問い合わせに気づかされる点が多々あり今後の研究活動にもフィードバックできそうです。産は産の役割、学は学の役割がありますがその間を取り持つこういったイベントは今後存在価値を増していくと感じました。

※写真は、グン教授のブースを訪れた松浪副大臣
（右上の円内は、黒川助教と「高強度ゲル」で制作した模型）



地震学夏の学校2007「地球深部研究の最前線」を開催

理学研究院では、地震学夏の学校2007「地球深部研究の最前線」を、9月8日～10日に北海道小樽市のおたる自然の村・おこばち山荘にて開催いたしました。今回は、地震や火山現象の元となる、地球深部（マントル～コア）の活動に焦点を当て、地球全体を対象とするグローバル固体地球科学の基礎から最新の成果まで学ぶことを目的としました。参加者総数は、学部学生18名、修士院生16名、博士院生12名、PD・一般13名（世話人含む）に講師7名を加えた計66名でした。講師には「地球深部科学」の各分野の第一線でご活躍中の7名の先生方をお迎えし、それぞれの専門分野における最新の話題をご紹介いただきました（以下講演順）。

日置幸介氏（北大理）	「測地学でみるマントルのダイナミクス」
川勝 均氏（東大地震研）	「地震でみるマントルの内部」
田中 聡氏（JAMSTEC）	「地震でみるコアの内部」
清水久芳氏（東大地震研）	「電磁気でみるマントルとコア」
井上 徹氏（愛媛大地球深部）	「超高压実験でみるマントルの内部」
吉岡祥一氏（九大理）	「コンピューターでみるマントルの内部」
深尾良夫氏（JAMSTEC）	「地球深部のダイナミクス～現状と将来の課題」

また8日・9日の講演終了後には、参加者によるポスターセッションを行いました。大学院生を中心に27件の発表があり、ポスターを囲んで深夜まで活発な議論が交わされました。今回の夏の学校では、講師の先生方から事前にお送り頂いた講演資料を印刷し、当日の配布資料としました。また、講演者による入念なご準備や、参加学生からの積極的な質問、ポスターセッションにおける参加者間の活発な議論によって、大変充実した夏の学校となりました。終了後のアンケートでも、9割以上の方々からご満足いただけたとの回答を頂いており、世話人一同大変うれしく思っております。

最後に、北海道での夏の学校を開催するにあたり、企画から運営までご支援いただいた市原寛、阿部雄太、町田祐弥、小川涼子、野口科子、本多亮各氏を始めとする、北海道大学の学生・研究員・教員の皆さんに心より感謝申し上げます。なお、今回の夏の学校は、北海道大学大学院理学研究院と文科省科研費特定領域研究「地球深部スラブ」の共同主催として開催いたしました。また、日本地震学会から「若手育成のための企画」として後援して頂きました。記して感謝いたします。

地震学夏の学校 世話人： 吉澤和範（自然史科学部門）
青山 裕（地震火山研究観測センター）
高橋浩晃（地震火山研究観測センター）

学会賞等の受賞等

北海道大学大学院理学研究科 物理学専攻 博士後期課程（平成15年3月修了、現 富士フィルム）**藁口 あゆみ さん**は、「超広帯域誘電緩和測定による過冷却糖アルコールにおける分子ダイナミクスの研究」（物理学部門固体物性 I 研究室在学中の研究）"Difference and similarity of dielectric relaxation processes among polyols", Phys. Rev, E68, 031501 (2003)により、平成19年9月22日、社団法人 日本物理学会から「第1回 日本物理学会若手奨励賞(領域12)」を受賞されました。

北海道大学大学院理学研究院 化学部門 教授（有機・生命化学分野）**谷野 主持 氏**は、「The development of new methods for the total synthesis of natural products having a polycyclic carbon skeleton」により、平成19年9月12日、社団法人 有機合成化学協会から「Mukaiyama Award 2007」を受賞されました。

北海道大学大学院理学研究院 化学部門 講師（物理化学分野）**木口 学 氏**は、「金属表面を利用した新規ナノ構造の作製および新たな表面・界面物性の探索」により、平成19年9月22日、社団法人 日本物理学会から「日本物理学会 第1回 若手奨励賞」を受賞されました。

北海道大学大学院理学研究院 化学部門 助教（有機・生命化学分野）**原 賢二 氏**は、「Modification of Gold Surface with Alkanethiolate Self-Assembled Monolayer Bearing Strongly Metal-Coordinating Functionality」により、平成19年6月24-29日に開催された、The 11th International Conference on Electrified Interfaces において、「Chairman's Poster Prize」を受賞されました。

北海道大学大学院理学研究院 自然史科学部門 准教授（地球惑星ダイナミクス分野）**古屋 正人 氏**は、「測地学データの取得と地球物理学的な解釈における卓抜して、著しく広範な業績を認めて(In recognition of his outstanding and very broad work in geodesy and the geophysical interpretation of his data and results)」により、平成19年7月2日、International Association of Geodesyから「Guy Bomford Prize」を受賞されました。

本賞は、国際測地学協会(IAG)が4年に1度、世界の40歳以下の若手研究者から1名を選んで授与しているものであり、日本では2人目の受賞です。

国際会議・シンポジウム等の開催

○“Representation Theory, Systems of Differential Equations and their Related Topics”

標記国際研究集会が7月2日（月）から6日（金）の間、理学部4号館508研究交流室において開催されました。このシンポジウムは、リー群の表現論と微分方程式系をコアとした幅広い数学分野での研究交流・促進を図ることを目指し、科学研究費補助金のほか、21世紀COEプログラム「特異性から見た非線形構造の数学」および環太平洋数学協会(The Pacific Rim Mathematical Association, 略称PRIMA)の支援を受けて行われたものです。フランス、中国、米国など国内外から約50名の数学者が参加し、19件の招待講演と活発な研究交流が行われました。これが我が国で初めて開催されるPRIMAイベントとなりました。詳細はホームページをご覧ください：

<http://coe.math.sci.hokudai.ac.jp/sympo/070702/>

PRIMAは環太平洋地域における数学研究教育の発展を促進するため、同地域の数学研究教育機関や数学会などを加盟団体とする協会として2005年に設立されました。本研究院数学部門は2006年7月にPRIMAに加盟しています。PRIMA/PIMS本部のあるBritish Columbia大学（カナダ・バンクーバー）には、札幌農学校2期生にして現在の北海道大学の基礎を築いた新渡戸稲造博士を記念した庭園があり、同博士の若き日の志である「願はくは、われ太平洋の橋とならん」が和文で記された石碑がおかれています。

これは、数学部門近くの花木園にある新渡戸博士顕彰碑に英文で記された“I wish be a bridge across the Pacific”と好対照をなしています。

写真：左はIvar Ekeland PIMS 所長、
右は数学部門寺尾宏明教授
(バンクーバー・新渡戸記念庭園にて)



写真：研究集会のプログラム

Representation Theory, Systems of Differential Equations and their Related Topics

Dates: 2 - 6 July 2007
Venue: 4-508, Department of Mathematics, Hokkaido University
(on the 5th floor of Science Bldg #4)
URL: <http://coe.math.sci.hokudai.ac.jp/sympo/070702/>

Organizers: Keiji Matsumoto (Hokkaido University)
Hiroyuki Ochiai (Nagoya University)
Toshio Oshima (University of Tokyo)
Mutsumi Saito (Hokkaido University)
Hiroaki Terao (Hokkaido University)
Hiroshi Yamashita (Hokkaido University)

Program:

Monday, July 2

13:30-14:30 Toshio Oshima (University of Tokyo)
Heckman-Opdam hypergeometric functions and their confluences
15:00-16:00 Taku Ishii (Chiba Institute of Technology)
Explicit formulas of Whittaker functions on real semisimple Lie groups
16:15-17:15 Birne Binengar (Oklahoma State University)
Whittaker vectors, generalized hypergeometric functions and a matrix calculus

Tuesday, July 3

9:30-10:30 Nobuki Takayama (Kobe University)
Modified A -hypergeometric system
10:45-11:45 Uli Walther (Purdue University)
Regularity and slopes of hypergeometric systems along linear subspaces
13:30-14:30 Hironobu Kimura (Kumamoto University)
The general Schlesinger system and Ward correspondence
15:00-16:00 Yoshishige Haraoka (Kumamoto University)
Studies on regular holonomic systems from the viewpoint of rigidity
16:15-17:15 Jiro Sekiguchi (Tokyo University of Agriculture and Technology)
Singular curves, Saito free divisors and root systems
18:00-20:00 Reception at Enreiso

Wednesday, July 4

9:00-10:00 Gen Mano (University of Tokyo)
The unitary inversion operator for the minimal representation of the indefinite orthogonal group $O(p, q)$
10:15-11:15 Tomohide Terasoma (University of Tokyo)
Beilinson regulator and bar complex for Deligne cohomology
11:30-12:30 Ken-ichi Sugiyama (Chiba University)
A geometric analog of the Iwasawa conjecture

Thursday, July 5

9:30-10:30 Yutaka Matsui (University of Tokyo)
Lefschetz fixed point formulas over singular varieties
(a joint work with K. Takeuchi)
10:45-11:45 Ryohei Hattoni (Hokkaido University)
On periods of cyclic triple coverings of the complex projective line and theta constants
13:30-14:30 William Traves (United States Naval Academy)
Differential operators and invariant theory
15:00-16:00 Kazufumi Kimoto (University of the Ryukyus)
Invariant theory of singular α -determinants
16:15-17:15 Minoru Itch (Kagoshima University)
Schur type functions associated to polynomial sequences of binomial type

Friday, July 6

9:00-10:00 Salem Ben Said (Université Henri Poincaré)
On the role of $SL(2, \mathbb{R})$ in the theory of Dunkl operators
10:15-11:15 Atsushi Wakamiko (Hokkaido University)
On the freeness of multi-Coxeter arrangements of type B_n and F_n
11:30-12:30 Jing-Song Huang (Hong-Kong University of Science and Technology)
Dirac operators and Lie algebra cohomology

*This conference is supported by The Pacific Rim Mathematical Association (PRIMA)

Secretary: Ms. M. Sasamori
TEL: 011-706-4671 FAX: 011-706-4672
E-MAIL: cr@math.sci.hokudai.ac.jp

外国人研究者受入状況

期間：2007年07月02日～2007年10月01日

(受入れ部門名：数学)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2007.07.01 -2007.08.22 【再掲】	フランス：University of Paris 6 Postdoctoral Fellow Giovanni Morando	研究打合せ 【JSPS(研-フ ^o ラム)・本多 尚文】
2007.09.04 -2007.10.31	カナダ：University of Tronto 教授 Grigory Mikhalkin	研究打合せと及び研究集会 (Tropical Geometry and Related Topics) への参加と講演 【JSPS・石川 剛郎】
2007.09.30 -2007.10.27	イギリス：University of Durham 講師 Farid Tari	特異点論の応用としての微分幾何と 偏微分方程式に関する研究打合せ 【私費(研究者本人負担)・泉屋 周一】

(受入れ部門名：化学)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2006.05.01 -2007.03.18 2008.04.30 (H20.6.10修正) 【再掲】	スウェーデン： 日本学術振興会・外国人特別研究員 Reza Dabirian Tehrani	分子内の電子伝導に及ぼす 分子内相互作用の効果に関する研究業務 【日本学術振興会事業・魚崎 浩平】

(受入れ部門名：自然史科学)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2007.06.04 -2007.08.24	トルコ：Kocaeli University (コジャエリ大 学) Research Assistant (研究助手) Taciser CETINOL (タージサジ セティノ ル)	地震表面波を用いたトルコ地域直下の上部 マントル構造の研究 【国際協力機構(JICA)・吉澤 和範】
2007.06.09 -2009.06.08	ロシア連邦：ロシア科学アカデミー 太陽地球物理研究所 Junior Research Scientist・ Elvira I. Astafyeva	稠密GPS網を利用した地震に伴う電離層 擾乱に関する研究 【日本学術振興会事業・日置 幸介】
2007.07.01 -2007.08.11	米国：メンフィス大学 准教授・Paul Rydelek	地震波に関する共同研究 【外国政府・研究機関及び国際機関経費・池田 隆 司】
2007.07.01 -2007.12.31 【再掲】	イラン：サーフルード工科大学 准教授・Gholam Abbas KAZEMI	北海道大学大学院理学研究院外国人研究員 【松前国際友好財団経費・角皆 潤】
2007.03.19 -2007.12.31	USA・Seattle. : PhD student of archaeology at the	同位体分析をもちいたオホーツク文化集団 移動の解析に関する研究

【再掲】	University of Washington (ワシントン大学・博士課程大学院生) James Taylor,	【外国政府・研究機関及び国際機関によるもの・総合博物館・天野 哲也】
------	---	------------------------------------

(受入れ部門名：生命理学)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【 経 費 等・受入教員 】
2007.07.11 -2007.12.31	中国：河北工業大学 准教授・李 学 鋒	中国「人材育成事業」研修員として技術研修 【中国政府：日本政府開発援助（ODA）円 借款 活用・龔 劍萍】

海外からの来訪者（短期滞在）

期間：2007年07月02日～2007年10月01日

(受入れ部門名：数学)

年月日 (期間)	来訪者 (国名・所属・職名・氏名)	目的 【経費等・受入教員】
2007.06.30 -2007.07.07 【再掲】	アメリカ： United States Naval Academy 准教授 William N. Traves	研究集会(Representation Theory, System of Differential Equations and Their Related Topics) への参加と講演 【科学研究費補助金(山下)・齋藤 睦】
2007.07.01 -2007.07.06 【再掲】	フランス： Universite Henri Poincare 准教授 Salem Ben Said	研究集会(Representation Theory, System of Differential Equations and Their Related Topics) への参加と講演 【私費(研究者本人負担)・山下 博】
2007.07.01 -2007.07.07 【再掲】	アメリカ： Oklahoma State University 准教授 Birne Binigar	研究集会(Representation Theory, System of Differential Equations and Their Related Topics) への参加と講演 【私費(研究者本人負担)・山下 博】
2007.07.01 -2007.07.07 【再掲】	ドイツ： Purdue University 助教 Uli Walther	研究集会(Representation Theory, System of Differential Equations and Their Related Topics) への参加と講演 【科学研究費補助金(山下)・齋藤 睦】
2007.07.01 -2007.07.07 【再掲】	香港： Hong Kong University of Science and Technology 教授 Jing-Song Huang	研究集会(Representation Theory, System of Differential Equations and Their Related Topics) への参加と講演 【科学研究費補助金・山下 博】
2007.07.07 -2007.07.15	フランス： University of Paris 6 ATER(教育研究補助員) Prelli Luca	研究打合せ 【科学研究費補助金(神保)・本多 尚文】
2007.08.20 -2007.09.01	フランス： Universite de Paris Sud 教授 Jean Ginibre	研究集会 (Nonlinear Wave Equations) への

		参加と講演 【科学研究費補助金・小澤 徹】
2007.08.22 -2007.08.28	台湾： National Taiwan Normal University 教授 Jong-Sheng Guo	研究集会(第32回偏微分方程式論札幌シンポジウム)への参加と講演 【私費(研究者本人負担)・利根川吉廣】
2007.08.22 -2007.08.29	ドイツ： Darmstadt University of Technology 助教 Peicheng Zhu	研究集会(第32回偏微分方程式論札幌シンポジウム)への参加と講演 【科学研究費補助金・利根川 吉廣】
2007.08.23 -2007.08.29	イタリア： University of Pisa 助教 Piero D'Ancona	研究集会(第32回偏微分方程式論札幌シンポジウム)への参加と講演 【科学研究費補助金・小澤 徹】
2007.08.23 -2007.08.29	カナダ： University of Alberta 教授 Mikhail Kovalyov	研究集会(第32回偏微分方程式論札幌シンポジウム)への参加と講演 【科学研究費補助金(中村玄)・津田谷公利】
2007.08.23 -2007.08.30	イタリア： University of Pisa 助教 Nicola Visciglia	研究集会 (Nonlinear Wave Equations) への参加と講演 【科学研究費補助金・小澤 徹】
2007.08.23 -2007.08.30	イタリア： Universita di Modena e Reggio Emilia 客員教授 Scipio Cuccagna	研究集会 (Nonlinear Wave Equations) への参加と講演 【科学研究費補助金・小澤 徹】
2007.08.26 -2007.08.31	アメリカ： Massachusetts Institute of Technology 教授 David Vogan	研究集会 (Sapporo Lectures on Representations in Lie Theory) への参加と講演 【科学研究費補助金・山下 博】
2007.08.26 -2007.09.08	台湾： Harvard University 博士課程2年 Kai-Wen Lan	研究集会 (Algebraic and Arithmetic Structures of Moduli Spaces) への参加 【科学研究費補助金・中村 郁】
2007.08.27 -2007.08.31	台湾： 台湾国立精華大学 教授 Meng-Kiat Chuah	研究集会 (Sapporo Lectures on epresentations in Lie Theory) への参加と講演 【科学研究費補助金・山下 博】
2007.08.29 -2007.08.31	韓国： Pohang University of Science and Technology 客員助教 Yonggeun Cho	研究集会 (Nonlinear Wave Equations) への参加と講演 【科学研究費補助金・小澤 徹】
2007.08.29 -2007.09.08	アメリカ： University of Pennsylvania 教授 Ching-Li Chai	研究集会 (Algebraic and Arithmetic Structures of Moduli Spaces) への参加と

		講演 【科学研究費補助金・中村 郁】
2007.08.29 -2007.09.09	オランダ： Universiteit van Amsterdam 教授 Gerard van der Geer	研究集会（Algebraic and Arithmetic Structures of Moduli Spaces）への参 加と 講演 【私費（研究者本人負担）・中村 郁】
2007.08.30 -2007.09.09	アメリカ： University of Georgia 教授 Valery Alexeev	研究集会（Algebraic and Arithmetic Structures of Moduli Spaces）への参 加と 講演 【私費（研究者本人負担）・中村 郁】
2007.09.01 -2007.09.05	中国： Beijing Normal University 教授 Dachun Yang	研究集会（Harmonic Analysis and its Applications at Sapporo 2007）への 参加と 講演 【私費（研究者本人負担）・立澤 一 哉】
2007.09.01 -2007.09.05	中国： Beijing Normal University 教授 Shanzhen Lu	研究集会（Harmonic Analysis and its Applications at Sapporo 2007）への 参加と 講演 【私費（研究者本人負担）・立澤 一 哉】
2007.09.01 -2007.09.05	中国： Beijing Normal University 教授 Yong Ding	研究集会（Harmonic Analysis and its Applications at Sapporo 2007）への 参加と 講演 【私費（研究者本人負担）・立澤 一 哉】
2007.09.01 -2007.09.05	中国： Beijing Normal University 准教授 Junfeng Li	研究集会（Harmonic Analysis and its Applications at Sapporo 2007）への 参加と 講演 【私費（研究者本人負担）・立澤 一 哉】
2007.09.01 -2007.09.05	中国： Beijing Normal University 助教 Qingying Xue	研究集会（Harmonic Analysis and its Applications at Sapporo 2007）への 参加と 講演 【私費（研究者本人負担）・立澤 一 哉】
2007.09.01 -2007.09.05	中国： Capital Normal University 教授 Zhongkai Li	研究集会（Harmonic Analysis and its Applications at Sapporo 2007）への 参加と 講演 【私費（研究者本人負担）・立澤 一 哉】
2007.09.01	中国： Institute of Applied Physics	研究集会（Harmonic Analysis and its

-2007.09.05	and Computational Mathematics 准教授 Wengu Chen	Applications at Sapporo 2007) への参加と講演 【私費（研究者本人負担）・立澤 一哉】
2007.09.01 -2007.09.05	中国： Peking University 教授 Heping Liu	研究集会（Harmonic Analysis and its Applications at Sapporo 2007) への参加と講演 【私費（研究者本人負担）・立澤 一哉】
2007.09.01 -2007.09.05	中国： Peking University 教授 Lizhong Peng	研究集会（Harmonic Analysis and its Applications at Sapporo 2007) への参加と講演 【私費（研究者本人負担）・立澤 一哉】
2007.09.01 -2007.09.05	中国： The Graduate University of Chinese Academy of Sciences 助教 Dunyan Yan	研究集会（Harmonic Analysis and its Applications at Sapporo 2007) への参加と講演 【私費（研究者本人負担）・立澤 一哉】
2007.09.01 -2007.09.05	スペイン： University of Sevilla 教授 Carlos Perez	研究集会（Harmonic Analysis and its Applications at Sapporo 2007) への参加と講演 【私費（研究者本人負担）・立澤 一哉】
2007.09.01 -2007.09.05	グルジア： グルジア科学アカデミー・ラズマゼ研究所 主任研究員 Lasha Ephremidze	研究集会（Harmonic Analysis and its Applications at Sapporo 2007) への参加と講演 【私費（研究者本人負担）・立澤 一哉】
2007.09.01 -2007.09.06	ドイツ： Freidrich-Schiller-University Jena 教授 H.-J. Schmeisser	研究集会（Harmonic Analysis and its Applications at Sapporo 2007) への参加と講演 【私費（研究者本人負担）・立澤 一哉】
2007.09.01 -2007.09.09	ドイツ： University of Bielefeld 教授 Thomas Zink	研究集会（Algebraic and Arithmetic Structures of Moduli Spaces) への参加と講演 【私費（研究者本人負担）・中村 郁】
2007.09.02 -2007.09.07	アメリカ： Harvard University 講師	研究集会（Algebraic and Arithmetic Structures of Moduli Spaces) への参

	吉田 輝義	加と 講演 【科学研究費補助金・中村 郁】
2007.09.02 -2007.09.07	ドイツ： University of Muenster 教授 Christopher Deninge	研究集会（Algebraic and Arithmetic Structures of Moduli Spaces）への参加と 講演 【私費（研究者本人負担）・中村 郁】
2007.09.02 -2007.09.08	アメリカ： Stony Brook University 教授 Leon Takhtajan	研究集会（Algebraic and Arithmetic Structures of Moduli Spaces）への参加と 講演 【私費（研究者本人負担）・中村 郁】
2007.09.02 -2007.09.08	インド： Tata Institute of Fundamental Research 教授 Conjeeveram Rajan	研究集会（Algebraic and Arithmetic Structures of Moduli Spaces）への参加と 講演 【科学研究費補助金・中村 郁】
2007.09.02 -2007.09.08	オランダ： University of Utrecht 教授 Eduard Looijenga	研究集会（Algebraic and Arithmetic Structures of Moduli Spaces）への参加と 講演 【私費（研究者本人負担）・中村 郁】
2007.09.02 -2007.09.08	中国： National Tsing Hua University 助教 Jyh-Haur Teh	研究集会（Algebraic and Arithmetic Structures of Moduli Spaces）への参加と 講演 【私費（研究者本人負担）・中村 郁】
2007.09.02 -2007.09.08	ロシア： Steklov Mathematical Institute 教授 Peter Zograf	研究集会（Algebraic and Arithmetic Structures of Moduli Spaces）への参加と 講演 【科学研究費補助金・中村 郁】
2007.09.02 -2007.09.09	オーストリア： Universitat Bonn 教授 Michael Rapoport	研究集会（Algebraic and Arithmetic Structures of Moduli Spaces）への参加と 講演 【科学研究費補助金・中村 郁】
2007.09.02 -2007.09.09	ドイツ： Leibniz Universitat Hannover 教授 Klaus Hulek	研究集会（Algebraic and Arithmetic Structures of Moduli Spaces）への参加と 講演 【私費（研究者本人負担）・中村 郁】
2007.09.02 -2007.09.10	インド： Tata Institute of Fundamental Research	研究集会（Algebraic and Arithmetic Structures of Moduli Spaces）への参加と

	教授 Vikram Bhagvandas Mehta	講演 【COE経費・中村 郁】
2007.09.03 -2007.09.09	イギリス： University of Cambridge ポスドク研究院 Caucher Birkar	研究集会（Algebraic and Arithmetic Structures of Moduli Spaces）への参加と 講演 【科学研究費補助金・中村 郁】
2007.09.15 -2007.09.19	中国： 西安交通大学 教授 李 開泰	セミナーでの講演 【科学研究費補助金・神保 秀一】

(受入れ部門名：化学)

年月日 (期間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経費等・受入教員】
2007.07.27	ドイツ・フライブルグ アルバート-ルードビッヒ大学フライブルグ校 教授・Bernhard Breit	有機合成触媒に関する学術講演会 【日本学術振興会事業・澤村 正也】

(受入れ部門名：自然史科学)

年月日 (期間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経費等・受入教員】
2007.09.07 -2007.09.14	オーストラリア： The Australian National University (オーストラリア国立大学) Emeritus Professor (名誉教授) David H. Green (デビット・グリーン)	研究室の視察（日本地質学会時） 【私費（学会経費）・新井田 清信】
2007.09.26 -2007.10.10	ドイツ：クリスチャンアルブレヒツ大学 教授・Priska Schafer	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費・馬渡 駿介】
2007.09.28 -2007.10.06	カナダ：プリティッシュコロンビア大学 PD研究員・Patrik Nosil	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費・片倉 晴雄】
2007.09.28 -2007.10.06	ロシア：ロシア科学アカデミー 教授・Mikhail A. Fedonkin	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and

		Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費・岡田尚武】
2007.09.28 -2007.10.07	イギリス：ビクトリア大学 准教授・John S. Taylor	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム” The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費 (北方生物圏フィールド科学センター) 前川 光 司】
2007.09.28 -2007.10.07	カナダ：ブリティッシュコロンビア大 学 教授・Eric B. Taylor	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム” The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費 (北方生物圏フィールド科学センター) 前川 光 司】
2007.09.28 -2007.10.07	ドイツ：ゼンケンベルグ博物館 准教授・Joachim Scholz	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム” The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費・馬渡 駿介】
2007.09.28 -2007.10.08	アメリカ合衆国：ノースカロライナ州 立大学 教授・Steven Emslie	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム” The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費 (水産科学研究院海洋生物資源科学部門) 綿貫 豊】
2007.09.28 -2007.10.09	イギリス：イギリス自然史博物館 上級研究員・Paul Taylor	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム” The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演

		【21世紀COEプログラム経費・馬渡駿介】
2007.09.28 -2007.10.09	ベルギー：ロイヤル博物館 教授・Michel Louette	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費・片倉晴雄】
2007.09.28 -2007.10.13	ロシア：サンクトペテルブルク国立大学 助教授・Andrei N. Ostrovsky	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費・馬渡駿介】
2007.09.29 -2007.10.05	アメリカ合衆国：フレデリック国立癌研究所 教授・Jill Pecon-Slattery	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費（創成科学 共同研究機構）増田 隆一】
2007.09.29 -2007.10.06	アメリカ合衆国：カルフォルニア大学 教授・Richard Norris	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費・岡田尚武】
2007.09.29 -2007.10.06	イギリス：リーズ大学 教授・Paul Wignall	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費・岡田尚武】
2007.09.29 -2007.10.06	ドイツ：アルフレッドウェゲナー研究所	21世紀COEプログラム「新・自然史科学

	教授・Linda K. Medlin	創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費・堀口健雄】
2007.09.29 -2007.10.07	インドネシア：インドネシア科学研究所 准教授・Dedy Darnaedi	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費・片倉晴雄】
2007.09.29 -2007.10.07	インドネシア：インドネシア科学研究所 准教授・Woro A. Noerdjito	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費・片倉晴雄】
2007.09.29 -2007.10.07	ドイツ：ミュンヘン国立動物学博物館 准教授・Bernhard Ruthensteiner	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費・馬渡駿介】
2007.09.30 -2007.10.06	カナダ：マギル大学 准教授・Andrew Hendry	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費 (北方生物圏フィールド科学センター) 前川 光司】
2007.10.01 -2007.10.07	中国：中国海洋大学 教授・Lixin Wu	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演

		【21世紀COEプログラム経費・見延 庄士郎】
2007.10.01 -2007.10.10	アメリカ合衆国：オレゴン大学 教授・David L. Noakes	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費 (北方生物圏フィールド科学センター) 前川 光 司】
2007.10.01 -2007.10.17	アメリカ合衆国： フレッドハッチンソン癌研究センター 准教授・Catherine Peichel	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費 (北方生物圏フィールド科学センター) 前川 光 司】
2007.10.02 -2007.10.04	インドネシア：バンドゥン工科大学 准教授・Chirstopher Y. Barsulo	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費・片倉 晴雄】
2007.10.02 -2007.10.06	シンガポール： シンガポール国立分子細胞生物研究所 教授・Byrappa Venkatesh	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費 (北方生物圏フィールド科学センター) 前川 光 司】
2007.10.02 -2007.10.08	アイスランド：ホラー大学 教授・Skuli Skulason	21世紀COEプログラム「新・自然史科学 創成」国際シンポジウム“ The Origin and Evolution of Natural Diversity”への参加 および講演 【21世紀COEプログラム経費 (北方生物圏フィールド科学センター) 前川 光 司】

(受入れ部門名：生命理学)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【 経 費 等・受入教員 】
2007.07.27 -2007.08.04	フランス：ESPCI・CNRS 研究員・成田哲治	講演等【龔 劍萍】
2007.08.09 -2007.08.10	アメリカ合衆国：Northwestern University 教授・Kenneth R. Shull	講演等【龔 劍萍】

学位授与

平成19年9月25日付け学位授与者（7名） （課程博士）

岩田 友紀子（数学専攻）

Study on a generalized local limit theorem for mixing semi-flows
（混合的半流に対する一般化された局所中心極限定理に関する研究）

主査 教授 由利 美智子

前川 泰則（数学専攻）

Mathematical approach to several problems related to viscous incompressible flows
（非圧縮性粘性流体とその周辺の解析的研究）

主査 准教授 利根川 吉廣

Iraj Saadat（化学専攻）

Molecular mechanism for the loss of epithelial cell polarity by the Helicobacter pylori CagA protein
（Helicobacter pylori CagA による上皮細胞極性破壊の分子メカニズム）

主査 教授 畠山 昌則

鈴木 和彦（生物科学専攻）

The role of tubulin deacetylation in resistance to axonal degeneration
（軸索変性耐性におけるチューブリン脱アセチル化の役割）

主査 教授 小池 達郎

陳 新江（生物科学専攻）

Self-Assembly, Polymerization Behaviors and Applications to Functional Polymer Gels of
an Amphiphilic Monomer in Lamellar Liquid Crystalline Phase
（両親媒性モノマー液晶相の自己組織化、重合挙動及び機能性高分子ゲルへの応用）

主査 教授 辻 井 薫

坂本 直哉（地球惑星科学専攻）

Extreme ^{13}C -rich materials from the Acfer 094 carbonaceous chondrite
（炭素質コンドライトAcfer 094 中の非常に ^{13}C に富む物質）

主査 教授 坂本 尚義

（論文博士）

秋山 恵里（生物科学専攻）

Thickening Properties and Emulsification Mechanisms of Water-Soluble Amphiphilic Polysaccharides
（水溶性両親媒多糖の増粘特性と乳化機構）

主査 教授 辻 井 薫

人事異動

対象期間：平成19年7月2日～平成19年10月1日

<正規職員>

平成19年8月15日付け発令

(辞職)

教務担当主任

中 村 信 子

平成19年9月1日付け発令

(採用)

自然史科学部門地球惑星ダイナミクス分野准教授
東京大学気候システム研究センター特任助教から

稲 津 将

平成19年10月1日付け発令

(転出)

大学院教育担当係長
学務部学生支援課係長へ

吉 井 洋

博物館担当主任
施設部施設企画課主任へ

松 田 由 香

(採用)

物理学部門凝縮系物理学分野講師
岡山大学自然科学研究科非常勤研究員から

日 高 宏 之

自然史科学部門宇宙惑星科学分野講師
独立行政法人理化学研究所基礎科学特別研究員から

佐 藤 光 輝

(昇任)

附属地震火山研究観測センター准教授
同センター助教から

高 橋 浩 晃

(転入)

自然史科学部門地球惑星ダイナミクス分野准教授
東京大学地震研究所助教から

古 屋 正 人

自然史科学部門宇宙惑星科学分野准教授

大学院地球環境科学研究所助教から

石 渡 正 樹

大学院教育担当係長

薬学事務部係長（教務担当）から

堅 田 義 昭

外部資金担当主任

北方生物圏フィールドセンター主任（会計担当）から

山 田 睦 代

大学院教育担当主任

法学研究科・法学部主任（学事担当）から

芳 岡 洋

教務担当

病院医事課から

小 野 春 香

（担当換）

外部資金担当主任

大学院教育担当主任から

上 平 聖 子

研究協力担当主任

外部資金担当主任から

山 本 祐 巳

博物館担当主任

研究協力担当主任から

星 野 祐 子

<非常勤職員>

平成19年7月2日付け発令

（辞職）

新・自然史COE技術補助員

石 田 麻 依

平成19年7月17日付け発令

（採用）

地震火山研究観測センター特任教授

アンソニー ウィリアム ハースト

平成19年7月31日付け発令

（辞職）

庶務・人事担当事務補佐員

星 野 美 紀

平成19年8月1日付け発令

（採用）

庶務・人事担当事務補佐員

石 田 香 奈

平成19年8月13日付け発令

(採用)

物理学部門技術補助員

松 宮 浩 志

平成19年8月21日付け発令

(採用)

数学COE 学術研究員

ジェイソン チョ
ン

平成19年8月31日付け発令

(任期満了)

生命理学部門技術補助員

野 口 隆 矢

(辞職)

数学部門学術研究員

長 瀬 優 子

数学COE 学術研究員

澤 田 宙 広

平成19年9月1日付け発令

(採用)

生命理学部門事務補佐員

守 田 繭 子

数学COE 事務補佐員

大 塚 朋 子

平成19年9月21日付け発令

(辞職)

S-Cubic事務補佐員

根 本 愛

平成19年9月30日付け発令

(任期満了)

自然史科学部門学術研究員

小 林 憲 生

研究協力担当事務補助員

岡 田 幸

(辞職)

数学COE 事務補佐員

川 崎 久 美 子

平成19年10月1日付け発令

(採用)

数学部門学術研究員	金 敬 善
分子情報連携研究センター（化学部門）特任助教	増 田 卓 也
自然史科学部門博士研究員	長谷川 健
自然史科学部門博士研究員	高田陽 一郎
生命理学部門技術補助員	佐々木 真奈
生命理学部門技術補助員	上 島 達 朗
地震火山研究観測センター技術補助員	畠 山 恵 美 子
庶務・人事担当事務補助員	東 美 花

(配置換)

新・自然史COE博士研究員から 環境科学研究所博士研究員へ	須 股 浩
S-Cubic事務補助員から 事務補佐員へ	新 木 智 香 子

行事予定

〈平成19年10月～平成20年4月初旬〉

月	日	曜	事 項
10	1	月	全学教育・理学部・大学院理学院授業開始
	5	金	学位申請（10月付託）締切
	10	水	学部生（平成17年度以前入学者）履修届受付【～11日（木）】 学部生（平成18年度以降入学者）履修届Web入力【～16日（火）】
	11	木	AO入試出願受付期間【～18日（木）17:15必着】
	15	月	大学院履修届受付【～18日（木）】
11	2	金	AO入試第1次選考結果通知
	9	金	12月学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切
	16	金	学位申請（11月付託）締切
	18	日	AO入試第2次選考日【16日（金）午後一部休講】
12	4	火	AO入試第2次選考結果通知
	7	金	AO入試合格者入学手続き【～13日（木）17:15必着】
	13	木	大学院理学院第二次入試出願資格予備審査申請期間【～20日（木）】
	25	火	学位記授与式，学位申請（1月付託）締切 全学教育部・理学部・理学院冬季休業【～1月4日（金）】
1	7	月	全学教育・理学部・大学院理学院授業再開
	10	木	大学院理学院第二次入試出願資格予備審査結果通知【16:30頃】
	11	金	大学院理学院修士（博士前期）課程・博士後期課程第二次入学願書受付【～17日（木）】
	19	土	大学入試センター試験【～20日（日）】【18日（金）休講】
	22	火	全学教育科目補講日【～23日（水）及び29日（火）～30日（水）】
	30	水	全学教育科目第2学期授業終了
	31	木	転学・転部・転科・編入学・再入学申し出締切 全学教育科目定期試験【～2月13日（水）】
2	5	火	【4日（月）午後～6日（水）原則休講：条件により一部は実施可】 大学院理学院修士（博士前期）課程・博士後期課程第二次入学試験【～6日（水）】
	8	金	3月学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切 修士論文題目提出締切
	12	火	大学院・学部専門科目補講・集中講義期間【～21日（木）】
	14	木	全学教育科目追試験【～18日（月）】
	15	金	学位申請（3月付託）締切 研究生・聴講生・科目等履修生入学願書受付【～21日（木）】
	25	月	本学第2次入学試験（前期日程）【22日（金）試験場設営】
	28	木	大学院理学院修士（博士前期）課程・博士後期課程入学試験合格者発表【16:30頃】 研究生・聴講生・科目等履修生入学許可通知【16:30頃】
3	上～中旬		学科等分属手続き（平成17年度以前入学者のみ対象）
	12	水	本学第2次入学試験（後期日程）【11日（火）試験場設営】
	25	火	学位記授与式
	28	金	学位申請（4月付託）締切
4	1	火	大学院理学院入学式
	3	木	大学院・学部専門科目授業開始
	7	月	学部新入生オリエンテーション及びガイダンス
	8	火	北海道大学入学式

